

高次脳機能障害支援者養成研修カリキュラム

＜基礎研修＞

- ◆ 対象:すべての障害福祉サービスの新人・若手職員
- ◆ 研修のねらい:
 - ・ 障害福祉サービスの対象となる高次脳機能障害者について知る
 - ・ 高次脳機能障害者の障害特性を理解し、日常的な支援での対応方法を習得する。

科目名	時間	内容	
I 講義	360		
障害の定義	40	高次脳機能障害とは	本研修の対象となる障害・研修の構成
			高次脳機能障害の定義・Q&A・各論の紹介
障害特性の理解	40	診断・評価	典型画像と経過・症状の現れ方
			問診・神経心理学的評価 (日常生活で気づくこと・留意すること)
障害特性に応じた支援	40	病院におけるリハビリテーション	医学的リハビリテーション
			病院から地域へ(診断書のポイント・地域支援体制)
障害特性に応じた支援	40	地域におけるリハビリテーション	失語症とコミュニケーション支援
			制度利用(障害者手帳と総合支援法サービスを中心に)
			相談支援(情報収集とアセスメント)
			生活訓練
			復職・就労移行支援
			生活と支援の実際
II 演習	360		
障害特性の理解	90	診断・評価体験	「順唱」「線分二等分」や「描画」等の体験(注意や記憶の働き等の理解) MMSE/WAIS/BIT/BADS など、基本対応
障害特性に応じた支援	90	退院時支援の実際 情報収集とアセスメント	課題提示
			グループ検討・発表
			解説・質疑
障害特性に応じた支援	90	生活訓練の実際	課題提示
			グループ検討・発表
			解説・質疑
障害特性に応じた支援	90	復職・就労移行支援	課題提示
			グループ検討・発表
			解説・質疑

＜実践研修＞

- ◆ 対象: サービス管理責任者、相談支援専門員などの高次脳機能障害者支援の経験者等
- ◆ 全体のねらい:
 - ・ 多職種連携(チームアプローチ)の重要性を理解する。
 - ・ 高次脳機能障害者の支援の短期的な方向性(個別支援計画等)を立てることができるようになる。

科目名	時間	内容	
I 講義	360		
障害特性に応じた支援	40	障害特性に応じた支援	障害特性に応じた支援・当地の支援体制
	40		発達障害・認知症との共通点と相違点
ライフステージに応じた支援	40	ライフステージに応じた支援	小児期における支援
	40		長期経過とフォローアップ
地域支援の実際	40	多職種連携・地域連携	チームアプローチの重要性
			支援の原則
			地域で支えるしくみ
	40		家族(きょうだい)支援・当事者家族会の活動
	40	地域生活支援の実際	コミュニケーション支援(地域生活・職場での支援)
40	支援の実践的な枠組みと記録	支援の実践的な枠組み・プロセス	
		アセスメント票と支援の手順書の理解	
		記録方法	
40	自動車運転再開支援	評価・手続き	
II 演習	360		
障害特性の理解とアセスメント	180	障害特性とアセスメント(1)	障害特性の理解
			障害特性に基づくアセスメント
			行動の背景を理解する
障害特性の理解と対応方法	180	障害特性の理解と対応方法	グループワーク(障害特性の把握と対応方法のディスカッション)
			対応方法演習(ロールプレイ)
			グループワーク及び発表(対応方法の振り返りと支援計画検討)
環境調整による支援	180	障害特性とアセスメント(2) 環境調整の考え方と方法	強みや好みを活かす視点
			環境調整の考え方
			環境調整の方法
記録に基づく支援の評価	180	記録の収集と分析	行動の記録の方法
			記録の整理と分析
			再アセスメントと手順書の修正
			チームアプローチを学ぶ(個別支援計画作成演習)
			グループ検討/まとめ